

迷惑メール対策を強化

～3月30日より、なりすましメール受信拒否機能を導入～

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:津田志郎)は、インターネット接続サービス「ボーダフォンライブ!」を快適にご利用いただけるよう、迷惑メールへの対策を順次強化しています。今回、パソコンなどを利用して送信元を携帯電話のメールアドレスに偽装したいわゆる「なりすましメール」の受信拒否機能を、3月30日(水)より導入します。

「なりすましメール受信拒否機能」は、パソコンなどを利用して送信したメールの送信元を、ボーダフォン携帯電話や他社携帯電話・PHSのメールアドレス¹に偽装した、いわゆる「なりすましメール」を受信拒否できるようにするものです。お客さまは、「ボーダフォンライブ!」のウェブやボーダフォンホームページ(www.vodafone.jp)のオリジナルメール設定ページから、なりすましメールの受信について「受信許可(初期設定)」「受信拒否」のいずれかに設定できます。

なお、インターネットサービスプロバイダーのメール転送サービスやメーリングリスト²など、適正な利用であってもなりすましメールと分別されるおそれのあるものについては、転送元となるメールアドレスやメーリングリストのメールアドレスをあらかじめ「救済リスト」に登録しておくことによって、なりすましメールの受信を拒否していてもこれらのメールを受信することができます。³

また、2月15日に発表した「URLリンク付きメール受信拒否機能」についても、「なりすましメール受信拒否機能」と同時に導入します。

ボーダフォンでは「ボーダフォンライブ!」を快適にご利用いただけるよう、引き続き迷惑メール対策の強化に努めてまいります。

- 1 PHSはウィルコム(旧DDIポケット)のみ。
- 2 インターネットメールを利用して、参加者全員に同じメールを配信するシステム。
- 3 一部のメール転送サービスやメーリングリストでは、「救済リスト」に登録しても受信できない場合があります。

以上

- Vodafone, Vodafone live!(ボーダフォンライブ!)およびスピーチマークデバイスは、Vodafone Group Plcの登録商標または商標です。
- ボーダフォングループは世界26か国で約4億1640万人以上の加入者(2004年12月末現在、出資全子会社の合計加入者数)を持ち、さらに14か国の事業者と提携して世界をリードする携帯電話会社です。